

はあもにい

No311

2021年

11月号

(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局TEL053(463)4312 みかん薬局TEL053(584)2230 いちご薬局TEL055(946)6430

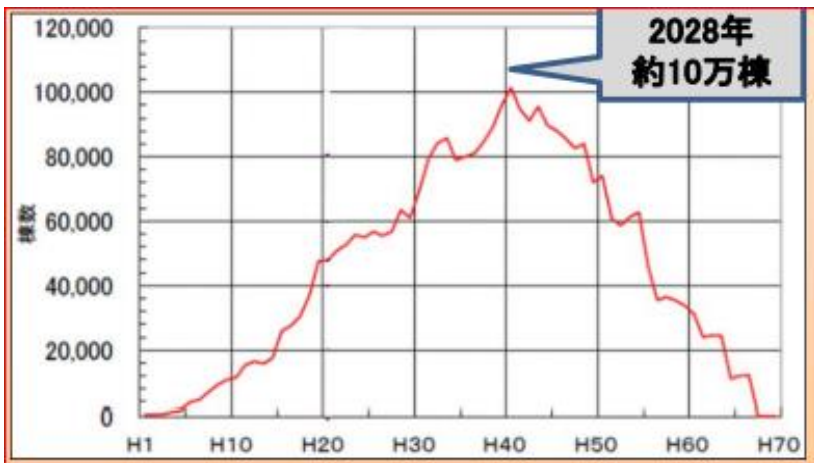
私は大丈夫？アスベスト被害について

アスベスト（石綿）は肺に大量に取り込まれると蓄積し、肺がんや中皮腫などを発症することが分かっています。アスベストおよび石綿製品は、2006年（平成18年）9月1日より製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止されました。しかし古い建物で使われたままになっているものもあります。また日常使われるブレーキやクラッチ、温泉の配管でもアスベストはいろいろな形で使われていました。アスベスト健康被害は今も続いています。アスベスト健康被害と被害の救済についてお伝えします。

粉じんやアスベストの病気は、アスベスト関連の仕事をしてきた人自身だけでなく、持ち帰った衣服に付着していたアスベスト繊維を家族が吸い込み中皮腫を発症した例もあります



アスベストは安価で耐熱性、耐摩耗性、耐燃性に優れているため1975年までに建てられたほとんどのビルで耐火被覆材として鉄骨などに吹き付けて使用されています。



社会資本整備審議会建築分科会アスベスト対策部会（第5回）より

アスベストを含む建築材料を使用した建物の解体工事は2028年ころピークを迎えます。建設労働者だけではなく、一般の人でも解体現場の近くでアスベストを吸入して発症します。2005年に石綿障害予防規則が制定され、建物解体の際の事前調査やアスベスト除去の方法が規定され、一般的な生活環境への飛散防止策が示されました。

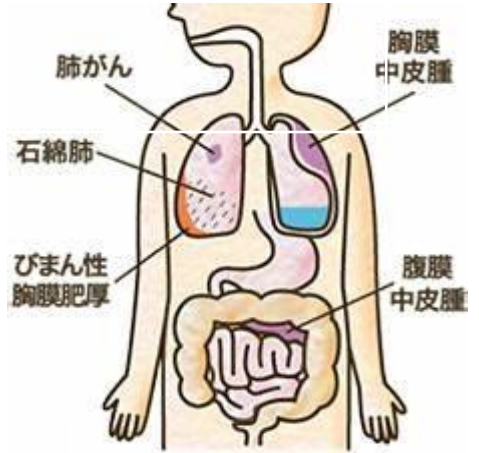
アスベスト被害は、2005年兵庫県尼崎市の大手メーカー「クボタ」神崎工場周辺の住民にアスベスト健康被害が発生していると報道された「クボタ問題」から始まりました。全日本民医連理事会は2005年7月に声明を発表しアスベスト被害者の救済に取り組み、各地区でも様々な取り組みが進められています。



アスベストによる主な症状

息切れがひどくなった
 咳や痰が以前に比べて増えた（痰の色の変化、血痰）
 顔色が悪いと注意された、爪の色が紫に見える
 顔がはれぼったい、手足がむくむ、体重が急に増えた
 激しい動悸
 風邪をひいてもなかなか治らない
 寝床に横になると息が苦しい

アスベスト繊維は直径0.02マイクロメートルと非常に細く、肺の奥まで入り込みやすくなっています。一度吸い込むと体外へ排出、分解されにくく、何十年も体内にとどまり、細胞に刺激を与え続けます。それが原因でがんなどの病気を引き起こすと考えられています。



アスベストを吸うことにより発生する主な疾患（厚労省HPより）

| 疾患 | 症状 | 潜伏期 |
|----------|--|--------|
| 石綿肺 | 肺が繊維化してしまう肺線維症（じん肺） | 10～40年 |
| 肺がん | メカニズムはわかっていないが、肺細胞に取り込まれたアスベストの刺激で肺がんが発生 | 15～20年 |
| 悪性中皮腫 | 肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓及び心膜等にできる悪性の腫瘍 | 20～50年 |
| びまん性胸膜肥厚 | 広範囲に臓側胸膜と壁側胸膜の癒着が起きている状態 | 15～25年 |

症状が現れるまでには時間がかかり、治療には長い年月と多くの費用が掛かります。労災と認められれば費用の負担は軽減されます。佐藤町診療所ではアスベスト被害専門外来があり、労災認定や診療、健診活動を行っています。

アスベスト関連疾患は労災が認められる病気です

アスベストを吸い込んだ可能性のある方やその他ご心配な方相談窓口

「働くもののいのちと健康を守る全国センター（いの健）」

TEL03-5842-5601

「静岡県働くものの安全と健康を守るセンター」

〒420-0851 静岡県駿河区黒金町55 静岡交通ビル3F静岡県評気付

TEL：054-287-1293 FAX:054-286-7973



大学病院や地域の比較的大きな病院の医師でも見逃すことが多く、患者さんがアスベスト被害による症状を疑っても否定されることが多々あります。

アスベスト被害と感じたら際には、専門の医師への受診をお勧めします。

参考) 「いつでも元気」2017年3月31日けんこう教室 終わっていないアスベスト被害
 「いつでも元気」2020年11月30日けんこう教室 今後も続くアスベスト被害
 アスベスト交流集会問題提起2006年5月20日 国土交通省石綿飛散防止小委員会
 厚労省HPアスベストに関するQ&A 文責 たまち薬局 太田文子